

# 子宮内膜症に対するジエノゲスト治療中の不正性器出血のリスク因子の検討

## 1. 研究の対象

2008年8月～2021年1月に、高知大学医学部附属病院 産婦人科において子宮内膜症に対してジエノゲストで6ヶ月以上治療を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

子宮内膜症治療にジエノゲストを用いる際、その代表的な副作用として不正性器出血があります。不正性器出血が持続する方では治療満足度が低下する可能性や、その程度によっては治療継続が困難となる場合もあります。

ジエノゲスト使用中の不正性器出血の有無やその持続期間と、患者さんの背景(治療開始年齢、BMI、手術療法の有無)や治療中の血中エストラジオール値との関連について検討します。さらに、手術を行った方については、その手術方法と不正出血の有無や血中エストラジオール値との関連について検討します。

研究実施期間は倫理委員会承認日から2022年3月末日までとします。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、ジエノゲスト開始年齢、BMI、手術療法の有無と術式、血中エストラジオール値 等

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

TEL：088-880-2383

研究責任者： 国立高知大学医学部産科婦人科学教室 山本 槇平